

本年3月、中教審大学分科会質保証システム部会より、「新たな時代を見据えた質保証システムの改善・充実について(審議まとめ)」が出された。「大学教育の多様性・先導性を向上させる方向で改善・充実を図っていく」ため、大学設置基準等が規制緩和の方向で見直されると同時に、大学の自律的な質保証がより一層求められている。一方、「内部質保証」というと、認証評価のためにしくみをつくったものうまく機能せず、実効性を伴っていない大学も少なくないと聞く。各部局で行われている学修者本位の教育の実現に向けた数々の取り組みを統合し、みんなで「機能する」質保証へとかじを切っていきたい。

みんなで
進めよう!

学生のための 内部質保証

After

「学生の成長」を合言葉に「ルーティン化された」内部質保証。日常的、統合的にみんなで改善に向けたサイクルを回し、学生に還元される



Before

「認証評価用」で終わる内部質保証。現場の実態とかけ離れ、学生に還元されにくい

